

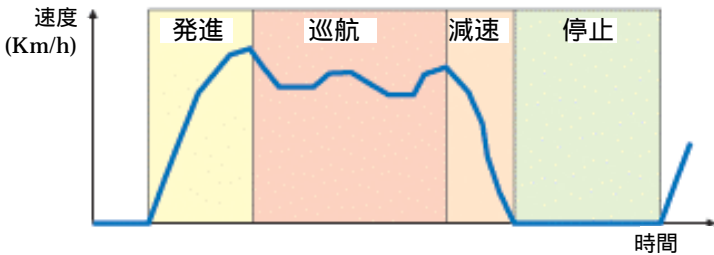
エコドライブのポイント

地球温暖化防止のための『エコドライブ』。でも、何をどうやったらいいのをご存知ですか？

すぐに実践できて、地球にもお財布にもやさしい『エコドライブ』のポイントをまとめました。

車は、発進、巡航、減速、停止の4つの形態を繰り返しながら走行しています。

これらの走行形態ごとにエコドライブを考えると理解が容易です。



1 発進時 発進は、まず一呼吸おいてから。アクセルはゆっくり踏み込みましょう。

- ・発進時には、最も多くの燃料を消費します。
- ・ブレーキから足を離し、一呼吸おいて車が少し動きだしてからゆっくりアクセルを踏み込みます。
- ・前方の交通状況を読んで、加速し過ぎないようにしましょう。

実施方法 ゆっくり発進、ゆっくり加速

ブレーキからアクセルへ一呼吸おく感じで足を移す。	アクセルへ足を乗せる感じで踏み始める。	速度の上昇と共に徐々に踏み込む力を増やす。	加速しすぎないように流れの速度になる手前で少し戻す。

2 巡航時 巡航は先を見ながら。速度変動の少ない運転をしましょう。

- ・加速、減速を繰り返す運転は燃料を多く消費します。
- ・加減速を抑えるためには、先の交通状況、道路状況を把握して、早めに対処します。
- ・市街地では周囲に合わせた速度、郊外や高速道路では緊張しないで運転できる速度を目安にしましょう。

実施方法 巡航時はなるべく一定の速度で(定速走行)

予測運転をして、ブレーキを踏まなくてよい速度コントロール。	速度が変化したらアクセルでゆっくり修正する。	アクセル微調整で定速走行できる車間距離。	

3 減速時 減速は早めにアクセル OFF。停止位置を予測しましょう。

- ・アクセルを OFF にすると燃料の消費が抑制されます。
- ・先の交通状況や道路状況を把握して、停止位置を予測し、早めのアクセル OFF を心掛けましょう。

実施方法 惰性走行を使い、燃料消費量の削減

4 停止時 停止時はアイドリングストップ。5秒で省エネ。

- ・車は停止していても燃料は消費されています。
- ・エンジンの始動にかかる燃料は、約5秒間のアイドリングと同じです。(5秒以上エンジンを止めれば、省エネになります。)



一度に全てを実践しようとするは大変です。まずは効果が高く、自分でできそうなことから始めてみましょう。

市街地走行では、『発進時のアクセル操作に注意』と『停止時のアイドリングストップ』の2つを実践すれば、十分な効果が得られます！

【信州豊かな環境づくり県民会議作成資料】

資料提供：(財)省エネルギーセンター

エコドライブを楽しむ地球人サイト <http://www.recoo.jp/>